集落

集落行事

与論島には9つの集落があります。小さな島なので、集落ごとの行事よりも島全体で行う行事やイベントが中心になります。国指定重要無形民俗文化財の「与論十五夜踊り」は旧暦の3･8･10月の15日に開催されます。

与論島の集落行事は敬老会などがあります。また、毎月、清掃の日を設定している集落もあります。

集落の公民館長（自治会長に当たる存在）に集落行事について予め確認することをお勧めします。

集落の主な行事			
1月	年始式、年祝い、成人式	7月	
2月		8月	夏祭り
3月	卒業祝い、教職員送別会	9月	敬老会
4月	入学祝い、浜下り	10月	町民体育大会（集落対抗）
5月	集落総会	11月	駅伝大会
6月		12月	

集落組織

女性部、青年部、壮年部、老人クラブなどの組織があります。各集落の組織の役員が集まる定例会では、日々の集落運営を協議したのち、年に数回集落民全員が集まる総会を開催するところが多いです。

集落組織とは別に、若者（20代が中心）は島全体の連合青年団、女性団体等があり、島全体で行う祭り等で中心となって活動しています。

集落組織は自治運営に関わる部分も多いので活動も盛んです。参加は強制ではありませんが、参加することが期待されており、参加することで地域との親睦を深めることができます。

集落運営費

一年に一度集金する「公民館費」と、イベント等で集められる「寄付」に分かれます。

公民館費
自治会費のことで、各集落の小組合長が各家庭を回って集金します。与論島全集落同額で、1年間3,000円です。費用の大半は集落公民館等の集落にかかる活動費などに充てられます。公民館費以外に緑の羽根や赤十字の募金も集落で集められます。

寄付
体育大会や総会などが開催される時に集められます。集落費と違い、決まっているわけではありません。

発行：　奄美群島広域事務組合
〒894-0023
鹿児島県奄美市名瀬永田町18番6号
TEL：　0997-52-6032
FAX：　0997-52-9618
URL：　http://www.amami.or.jp/
＜発行：2023年9月＞

YORON

Illustration：MIKI SAIKI

与論島移住ガイド

奄美群島最南端の島で、鹿児島県本土から580km、沖縄本島最北端の辺戸岬から23kmの位置にあります。鹿児島県でありながら文化的には沖縄の色が濃く、沖縄の原風景がみられる場所とも言われています。面積20.58km^2、周囲は23.7km、最高標高が97mとフラットな隆起珊瑚礁の島で、 日本の絶景にも代表される砂浜「百合ヶ浜」やリーフが島の周囲に広がっています。

5月～10月は半袖という温暖な亜熱帯気候。7～10月にかけて台風が発生するので、島民は万全な準備を心がけています。

鹿児島、奄美大島、那覇から飛行機
（那覇から40分）

鹿児島、奄美大島、那覇からフェリー
（那覇から5時間）

9つの集落で構成される与論町に、約5,100人が生活しています。主な産業は農業、観光業です。

島の内側を県道623号線が走り、与論島の市街地茶花と空港と港をつなぐ形で県道631号線が走っています。島民のほとんどがマイカーを利用していますが、路線バスも運行しています。島を時計回りのルート、反時計回りのルートで県道623号線を回る2つの路線があり、1周40分程度です。運賃は一律200円です。

詳しくは↑

（2023/8/1現在）

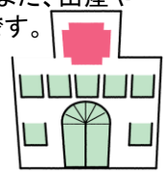
	人口	世帯数
与論町	5,098人	2,666世帯

24時間営業のコンビニやファミレスはないですが、小さな電気店、スーパー、ホームセンター、商店があり、生活必需品は島内で購入できます。インターネット通販は配達までに数日かかり、離島送料を加算するところが多いです。大きな買い物には沖縄本島に行く島民が多いです。

HEALTHCARE

詳しくは↓

徳洲会病院や診療所がありますが、診療科によっては島外から専門医が来島・診療するので予約が必要です。鹿児島県立大島病院（奄美市名瀬）が奄美群島をカバーする「奄美ドクターヘリ」を運航していますが、地理的条件により沖縄からドクターヘリが運航しています。また、出産や大きな手術では沖縄本島に行く島民が多いです。



COMMUNICATION

携帯電話は概ね全島をカバーし、インターネットは光回線が標準となっています。

詳しくは↓

移住に関する行政窓口

与論町　総務企画課
〒891-9301
鹿児島県大島郡与論町茶花1418-1
TEL：0997-97-3111
FAX：0997-97-4196
HP：http://www.yoron.jp/

YORON

Illustration：MIKI SAIKI

仕事に関する留意点

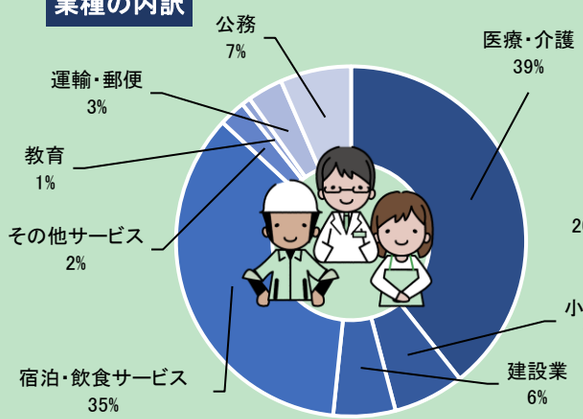
ハローワークか役場の求人案内チラシ、新聞の折り込み、店舗での貼り紙がほぼ全ての求人になります。ハローワークは月2回求人情報を発行しています。与論島の求人件数は少なく、職種も医療・介護、サービスの仕事が中心で、賃金は都市圏より低いです。さらに、地元住民は知人からの紹介で就職することもあります。

移住後に自分で起業する人もおり、島にはない飲食店やサービス業を始めた人もいれば、「半農半X」のようにサラリーマンをやりながら牛やサトウキビを育てたり、夏は観光、冬は農業のように仕事を掛け持ちしながら臨機応変に暮らしている人もいます。

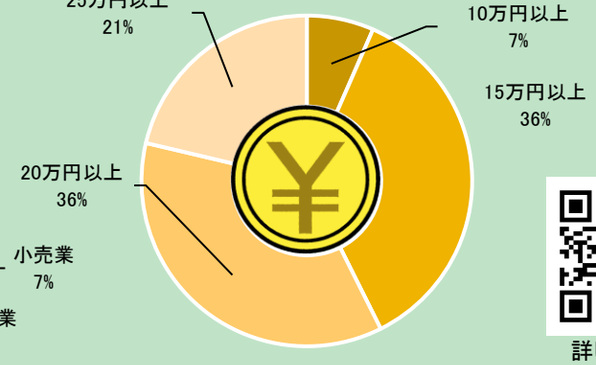
行政の起業支援もあるので、自営の道も視野に入れるのも一つでしょう。

「移住してよかった」と言えるように、事前に情報収集や起業・就労までの計画を立てましょう。

業種の内訳



給与の内訳



詳しくは↑

ハローワークの求人情報（2022/1～2022/12）を㈱ねりやかなやが独自集計しています。複数掲載された求人は重複集計しています。月額賃金の最低保証金額で、基本給＋歩合給の場合は基本給で集計しています。歩合給のみの求人は集計から除外しています。

教育機関や行政の子育て支援は

移住体験プログラムは

住まいの現状

流通物件は極めて少ないです。

不動産会社が2社ありますが、仲介物件は転勤者を対象とした家賃が高めの物件が多いです。

家主と借主の相対取引が主体ですが、住宅不足から借主が引越しを決める段階で次の借主が決まっていることが多いです。希望通りの物件に巡り合うためには時間がかかります。

与論島の不動産事情

- 築古物件が主流だったが、台風被害で物件数がさらに不足している
- 転勤世帯向け住宅以外は相対取引が主流
- 設備が老朽化しているか、壊れている物件もある
- 移住定住促進住宅（期限2年間・6戸）もあるが満室

詳しくは→

住まいに関する行政支援情報は

不動産物件情報は

定住促進住宅や移住体験住宅、リフォーム助成など、住宅や移住に関しての行政支援施策が掲載されています。